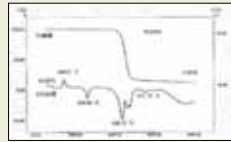


熱分析評価システムのご紹介

製品の開発や製造工程において、温度変化により機能が変化することがあるため、材料の熱的性質を知ることは重要となっています。本装置は試料温度をプログラム制御により変化させ、分解、融解、ガラス転移、膨張率、軟化点等を測定できます。

性能

- ・温度範囲:室温～1500℃
- ・質量測定範囲:±500mg
- ・示差熱測定範囲:±1000μV
- ・重量読み取り限界:0.001mg



概要

試料温度を変化させ、それに伴う重量変化と吸熱・発熱反応を同時に測定する装置です。材料の酸化や熱分解などの挙動の確認が可能です。

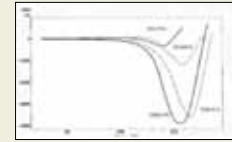
示差熱・熱重量測定装置

(株)島津製作所DTG-60H



性能

- ・温度範囲:室温～1000℃
- ・試料寸法:直径8×20mm以下
- ・試料への荷重:0～±5N



概要

物質の温度プログラムに従って変化させながら、圧縮、引張、曲げなどの荷重を加えて、その物質に対する変形を測定する装置です。熱膨張率や軟化点温度などを測定できます。

熱機械分析装置

(株)島津製作所TMA-60



示差走査熱量計

(株)島津製作所DSC-60 Plus



性能

- ・温度範囲: -140℃～600℃
- ・熱流量検出範囲: ±150mW

概要

一定のプログラムに従って温度を変化させ、ヒートシンクから試料または基準物質へ流入する熱流差を測定する装置です。融点温度などの熱物性や樹脂のガラス転移温度などの測定が可能です。

熱伝導率測定装置

ネッチ・ジャパン(株)
LFA467 HyperFlash



性能

- ・温度範囲:室温～500℃
- ・熱拡散率測定範囲:0.01～1000mm²/s
- ・熱伝導率測定範囲:<0.1W/(mK)～2000W/(mK)
- ・パルス幅:20μsec～1200μsec

概要

レーザーフラッシュ照射により試料に吸収された熱によって引き起こされる試料の温度上昇から熱伝導率を測定することができます。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 化学・環境担当 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

創業を決意された方の「夢」あるチャレンジをサポートします！

ほくと創業支援ローン **ドリーム**

創業に必要な設備資金・運転資金にご利用下さい。



地域元気宣言の
京都北都信用金庫